

様式 - 1

事業地区・箇所別概要(1)

平成31年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

1 事業の基本データ

計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	道路改築事業	都市計画道路桑部播磨線	
事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	桑名	市部 一般	桑名市 稗田～蓮花寺
事務事業名	道路改築事業		
基本事業名	道路ネットワークの形成		
公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

2 事業計画の概要

事業の目的			
当該路線は、桑名市桑部を起点とし、西方を終点とする総延長3.76km幅16.0mの路線であり桑名市における員弁川を横断する道路橋付近の渋滞緩和、桑名市南西部と朝日町、四日市市臨海部を結ぶ重要な路線である。桑部播磨線整備事業は街路事業区の整備により本事業により、通学路の安全対策の確保や、桑名市の南北の交通機能が強化されることにより、市内の渋滞緩和に寄与するものである。			
事業計画の概要			
延長	1,171m	事業着工	2018年度
幅員	9.0(17.0)m	事業完了	2029年度
橋梁工(≡)6橋		供用開始	2030年度
橋梁工(≠)1橋		B/C評価期間	50年
道路工	1171m	全体計画事業費(億円)	74.430
		全体計画工期(年数)	13年

3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	
	洪水等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
	高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	219.17
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	0.74
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	0.41
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費削減便益	
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益(現在価値合計): B'(億円)				220.32
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP × 受益世帯数	
		景観	WTP × 受益世帯数	
		文化	WTP × 受益世帯数	
		快適性	WTP × 受益世帯数	
		安全・安心	WTP × 受益世帯数	
粗便益(現在価値合計): E(億円)				0.00
粗便益(現在価値合計): < B' + E > (億円)				220.32
地域 桑名 に対応した地域係数-----				1
便益(現在価値合計): B(億円) ((B' + E) × 地域係数)				220.32
費用(現在価値合計): C(億円) (費用計算テーブルより)				63.10
費用便益比: B/C				3.49

費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

様式 - 2

事業地区・箇所別概要 (2)

平成31年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

1 事業の基本データ

計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	道路改築事業	都市計画道路桑部播磨線	
事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	桑名	市部 一般	桑名市 稗田～蓮花寺

2 政策的重要度評価 (個別評価)

(a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	
2	
3	他事業と一体的に整備する必要のある事業

(具体的な内容の記述 < 上記の補足事項 >)

(b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

	通学路における歩道の設置又は幅広歩道の整備
	道路事業計画の事業実施箇所に位置づけられている箇所の整備
	大規模プロジェクト等に関連して整備が必要な箇所の整備

(具体的な内容の記述 < 上記の補足事項 >)

民間大規模開発にあわせて整備する事業

(c) 熟 度

【全分野共通要件】

1	同盟会や促進協議会等が設立されている事業
2	ワークショップ等により地域住民が参加し計画づくりが行われた事業
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述 < 上記の補足事項 >)

自治会より整備の要望がなされている

【評価結果 (優先度判定の結果)】

優先度区分について

優先度	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度	: 優先度 以外の新規事業
優先度	: 中止する事業